

【創世記第16章】 「神のことばに聞き従う。」

「あなた自身から生まれ出て来る者が、あなたの跡を継がなければならない。」「星を数えることができるなら、それを数えなさい。～あなたの子孫はこのようになる。」まだ子供もないアブラムでしたが、彼は主を信じ、主はそれを彼の義と認められたのです。なんと麗しい信頼関係でしょうか。この様にせつかく神さまのことばを頂き、これを信じて神様から喜ばれたアブラムですが、妻のことばで現実に引き戻されました。「ご存じのように、主は私が子どもを産めないようにしておられます。どうぞ、私の女奴隷のところにお入りください。たぶん彼女によって、私は子どもの母になれるでしょう。」アブラムはサライの言うことを聞き入れたのです。何ということでしょう！神のことばに聞き従うのは「たぶん」という推測ではありません。はっきりとしています。どのようにして確認したらよいのかということをお聞きください。

聖書を通して、祈りの中で、思いのうちに語られる事もあります。預言を通して、夢を通して、天使、天のしるしを通して語られます。また幻、他の示しなどによっても語られます。吟味をしっかりとしましょう。自分できない場合は教会に委ねましょう。

こうしてハガルによって生まれたイシュマエルは今、イスラエル人と中東問題を起こしているアラブ人の祖先です。子々孫々にまで影響があります。

10月5日は「エルサレムの平和を祈る集い」がカリスマ聖会に於いてなされます。FRH教会も参加申し込みをしました。共に祈りましょう。

アブラムはサライの言うことを聞きいれてハガルによって子供を得ます。するとハガルは自分が子供を身ごもったのでサライを見下げたのです。神のことばを曲げてしまうことによって、様々な問題が起こります。

サライがいじめたのでハガルはサライの元から逃げて荒野に行きますが、そこで主の使いが現れます。そして女主人サライのもとに帰って身を低くして仕えるように。そしてハガルから生れるのはイシュマエル

(「神は聞かれる」の意)であることを告げます。主がハガルの苦しみを聞き入れられたからです。人生に何が起るかわかりませんが、そのすべてを神はご覧になっておられ、顧みて下さるお方であることを覚えてゆきましょう。ハガルはご覧になる神(エル・ロイ)を体験したのです！すべてが神のみ手の中にあると信じ、何が起っても感謝できる人生は素晴らしいです。喜ばない事でも、その先にある神の愛のご計画を見て感謝しましょう。神様は手を差し伸べて助け、良きに計らって下さいます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.9.14 No.806

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16

エルサレムの平和を祈る集い
2014年10月5日(日) 18:00~
会場：ハイアットリージェンシー東京 地下1階 桃山
どなたでもいらしてください / 入場無料 / 献金あり
東京カリスマ聖会において

NEW

トマス・タンカ氏
大川純道先生
新井三光氏

10月5日(日) 18:00~ハイアットリージェンシー東京にて

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center
<http://astone-blog.jp/tlcccrfh/>

